2018年度 全学統一入試 2018年2月7日実施

解答						
	1 (D)	2 (A)	3 (C)	4 (B)	5 (A)	6 (B)
	7 (A)	8 (C)	9 (B)	10 (B)	11 (B)	12 (C)
	13 (A)	14 (C)	15 (B)	16 (D)	17 (D)	18 (C)
	19 (A)	20 (D)				

1. **「ジャッキー、休日にも関わらず残念ですが、明日会議を行わなければなりません」**
   - 選択肢は**前置詞**[(D)**despite**]・**接続詞**[(A)**even though**,(B)**yet**「しかし」,(C)**although**]・**副詞**[(B)**yet**「まだ」]で構成されています。このパターンで基本となるのは、それぞれの品詞が「**何をつなぐのか？**」という観点です。

   前置詞――**名詞**をつなぐ
   接続詞――S(主語)・V(動詞)からなる**節**をつなぐ
   副　詞――**つなぐ機能を持たない**(※但し、**however**, **besides**などの**接続副詞**は**節**をつなぐ)

   - 本問において空欄のあとには**動名詞句**it being a holiday(itは動名詞beingの意味上の主語)が続いていますので、(動)名詞をつなぐはたらきをする前置詞である(D)despite(～にもかかわらず)が正解になります。
2. **「会議がいつもより早く予定されたことを知っていたなら、遅刻しなかったのに」**
   - 選択肢はbe動詞を変化させたものが並んでいます。このような場合は、問題文の中に**動詞の形**を決定するキーワードを探す方針で解いていきます。
   - 本問では、問題文の前半が**仮定法過去完了の条件節**[**If**＋**S**＋**had** ***done***...]になっているので、カンマ以下は**仮定法過去完了の帰結節**[**S'**＋**助動詞の過去形**＋**have** ***done***]になると推測できます。このことから、空欄にはhave *done*の部分である(A)have beenが正解になります。
3. **「トニーがどれほど上手に日本語を話すかということには、いつも驚かされます」**
   - 選択肢はすべて**前置詞**です。このような前置詞パターンでは、**①熟語やイディオムを構成する前置詞を問われている場合**と、**②文脈に合う意味を持つ前置詞を問われている場合**があります。
   - 本問では空欄の前が、I'm always surprisedとなっていることに着目します。be surprised **at**[**by**] ～で「～に驚く」という意味になるので、正解は(C)byになります。
4. **「私は昨晩、歴史のレポートを終えましたが、まだ先生に提出していません」**
   - 選択肢は動詞hand(～を手渡す)のさまざまな**時制**が並んでいます。このパターンでは、問題文中に時制を決定するキーワードを探す方針で解いていきます。
   - 本問では文末のyetがキーワードになります。haven't *done*...**yet**で「まだ(～していない)」の意味を表すので(B)haven't handedが正解になります。

     □**hand A B**「A(人)にB(物)を(手)渡す」(=hand B to A)
     I *handed* him the letter.(=I *handed* the letter **to** him.)
     (彼に手紙を渡した)
5. **「ゴルフは人気のある競技ですが、見るのはあまり面白いものではありません」**
   - 選択肢は「to watch(不定詞)＋□」という形になっています。本問では他動詞watchの目的語となっている(B)itや(C)thatが指すもの、または(D)watch forの目的語は何か？という視点で考えてみます。
   - to watchの目的語は明らかにgolfです。主語が不定詞の目的語の働きをしているので、不定詞のあとに目的語を置かない(A)to watchが正解になります。

   ■be動詞＋難易を表す形容詞＋to不定詞
   ［例］The problem is easy **to solve**.(その問題を解くのは簡単だ)
   easyやdifficultのような、**難易を表す形容詞の後に不定詞**が続いて、「**～するには…だ**」という主語に対する話し手の評価を表します。この用法では、主語が不定詞の目的語の働きをしているので、不定詞の後には目的語を続けません。

6. **「子供の頃、学校のある日は、日が暮れる前に帰宅しなければならなかった」**
   - 選択肢がすべて前置詞なので、空欄後のdarkは名詞と推測できます。ここでdarkは「**夕暮れ/日暮れ**」という意味になります。
     本問では、文脈に合う意味をもつ前置詞を選び(B)beforeが正解になります。
     □**before dark**「**日が暮れる前に**」　cf. **after dark**「日が暮れてから」
     If we leave now we'll be there *before dark*.
     (今すぐ出発すなら、日暮れ前にそこに着くだろう)
7. **「同僚がお腹を空かせていると思ったので、サトシは彼らにいくつかのドーナツを買った」**
   - 選択肢には動詞thinkを変化させた形が並んでいます。本問では、後半のSatoshi bought them some doughnuts(サトシは彼ら[=colleagues]にいくつかのドーナツを買った)という主節につながるようなものを選びます。
   - 不定詞である(B)To thinkを選ぶと目的の意味(「同僚がお腹を空かせているかもしれないと**考えるために**」)となるので主節とつながりません。(C)He thoughtを選んだ場合は、節と節をつなぐ**since**(～なので)や**so**(それで/だから)などの**接続詞**を補う必要があります。(D)Had he thoughtを選ぶと前半は**仮定法過去完了の条件節**となりますが、主節は過去形で記述されているので不可です。
   - (A)Thinkingを選び、**理由を表す分詞構文**と考えると「同僚がお腹を空かせていると**思ったので**」という意味になり、主節の内容とうまくつながります。
8. **「ビルはその素晴らしいユーモアのセンスで知られています。彼はどんな人でも笑わせることができます」**
   - 選択肢がすべて**前置詞**のパターンです。本問では空欄前の...is known (　　)という形が大きなヒントになっています。

     ■be knownと結びつく前置詞
     □be known **to** A「A(人)に知られている」
     □be known **by** A「Aによって分かる」――**判断基準のby**
     □be known **for** A「Aで知られている/有名である」〔主語≠A〕
     □be known **as** A「Aとして知られている/有名である」〔主語＝A〕
   - 本問ではBill(主語)≠his sense of humor(A≠人)であることから、(C)forが正解になります。
9. **「勉強する際に、音楽を聴くことが精神を集中する助けになる人達もいます」**
   - 本問は「**前置詞vs接続詞vs副詞**」のパターンから少し外れますが、選択肢にはいずれも「**つなぐ**」働きを持つ語が並んでいます。
   - 空欄に入る語は後続する**節**(they study)をつないでいるので、前置詞(＝**名詞**をつなぐ)である(A)duringと(C)onは正解候補から外れます。
     関係代名詞である(D)whatを入れた場合、和訳のような意味にするには前置詞onが必要(some people focus **on what** they study)になります。focusを「**精神を集中する**」という意の**自動詞**と考え、(B)whileを選べば文法的・文脈的にも最適となります。
10. **「来週のこの時間までに、カレンは新しい車を運転しているだろう」**
    - 選択肢には動詞driveの**時制**を変化させたものが並んでいます。正しい時制を選ばせる問題では、必ず問題文中に時制を特定するためのヒントがあります。
    - 本問で『**時**』を表している語句は、By this time next week(来週のこの時間までに)です。**来週**という**未来のことを予測して述べている**ので**未来進行形**である(B)will be drivingが正解になります。
11. **「ジョンは運転試験に合格できなかったことを運が悪かったせいにした」**
    - 選択肢はすべて他動詞の用法を持っています。(A)fault, (B)blame, (D)accuseは「**～を非難する**」という意味を持っているので、単語の意味から正解を選ぼうとしてもうまくいきません。
    - 類義語が多い場合は語法から攻めてみるのが定石です。本問では、後半の**on**に着

目した場合、空欄の動詞は「**SVO₁ on O₂**」という語法をもつと推測できます。選択肢の中でこのような語法をもつものは(B)blamedのみで、blame A **on** Bは「AをBのせいにする」という意味になります。

□**blame A on B**「AをBのせいにする」

Police *blamed* the disaster *on* the weather.
(警察はその災害は天候のせいだとした)

□**blame A for B**「AをB(のこと)で責める」

□**accuse A of B**「AをB(のこと)で非難する/責める」

12.**「私は時々、勉強の時間とアルバイトのバランスを取ることが難しいと思う時があります」**

▸前問(問11)と同様に、選択肢には他動詞が並んでいます。本問での選択肢は類義語ではありませんが、空欄のあとの要素に着目して解いてみます。

▸目的語が「**A**(time for my studies) **with B**(my part-time work)」という形になっているので、選択肢の中で**SVO₁withO₂**という語法をもつものがないか調べてみます。すると選択肢の中で(C)balanceがbalance A with Bで「AとBの釣り合いをとる」という語法を持ち、文意にも合うので、これが正解になります。

□**balance A with B**「AとBの釣り合いをとる/AとBを両立させる」

She currently ***balances*** her job ***with*** family duties.
(彼女は現在のところ仕事と家庭を両立させている)

13.**「私は寝室の新しい壁紙に調和するカーテンを買う必要があります」**

▸「to不定詞」の形になっていますが、選択肢はすべてgoを含む句動詞です。句動詞の問題であると分かれば、あとは文意に合ったものを選ぶだけです。

(A)**go with ~**「~と同行する/~と調和する」	(B)**go to ~** 「~へ行く/~に至る」
(C)**go by ~** 「~のそばを通り過ぎる」	(D)**go for ~**「~が欲しい/~を取りに行く」

(A)to go withを選んだ場合、some curtains **to go with** the new wall paperは「新しい壁紙**に調和する**カーテン」という意味になるので、これが正解になります。

14.**「教育予算をもっと増やすべきです。なぜなら、それは将来に対する投資だからです」**

▸選択肢には-mentという接尾辞をもつ名詞が並んでいます。この-mentという語尾は単語の末尾について名詞化する働きがあるのですが、本問ではそれぞれの意味が異なるので、文意にふさわしいものを選べば良いでしょう。

▸実際に当てはめてみると「**教育予算をもっと増やすべきです。なぜなら、それは将来に対する**[(A)~~environment「環境」~~(B)~~improvement「改良」~~(C)**investment「投資」**(D)~~appointment「約束/予約」~~]**だからです**」となります。正解は(C)investment「**投資**」になります。

15.**「公害を減らすため、可能な限り公共交通機関を利用するべきです」**

▸選択肢には異なる意味をもつ名詞が並んでいます。In (　　) to reduce pollutionで独立した句になっているので、(B)orderを選び「in order to *do*」の形にすれば、「**公害を減らすために**」という意味となり、文意がすっきり通ります。

□**in order to *do***「～するために/～するように」(=**so as to *do***)

He started early ***in ordert to*** avoid the rush hour.
=He started early ***so as to*** avoid the rush hour.
(彼はラッシュアワーを避けるために早く出発した)

16.**「当大学の学生達は、ホームレスの方々にお金を集める為、今週の日曜日にバーベキューを催します」**

▸選択肢はすべて他動詞です。あとに続く要素から、空欄に入る他動詞の語法は**SVO**であると推測できますので、文法的にはどの選択肢も入れることが可能です。よって、本問では文脈から最適なものを選びます。

▸動詞の目的語がa barbecue(バーベキュー)ですから、「**～を催す**」という意味をもつ(D)holdingが最適です。

□**raise**「～を上げる/(資金など)を集める、調達する」

raise funds to build a library(図書館建設の基金**を集める**)

17. **「ジェイソンは仕事があまりに忙しいので、夏季休暇の取得を延期することに決めた」**

▸ 選択肢はすべてputを含む**句動詞**です。句動詞パターンと判明したので、問13と同様に文意に最もふさわしいものを選べば良いでしょう。

(A)**put down ~**「~を書き留める」　(B)**put away ~**「~を片づける」
(C)**put in ~**「(時・金など)を費やす」　(D)**put off ~**「~を延期する」

▸ 目的語がtaking his summer vacation(夏季休暇を取得すること)ですから、(D)put off(~を延期する)が最適です。

□**put off ~**「~を延期する」(=**postpone ~**)

Could you ***put off*** the meeting until next Friday?
(来週の金曜日まで会議を延期してもらえますか)

18. **「ジョシュは会社で信頼できる従業員であるというとても素晴らしい評判を得ています」**

▸ 選択肢はすべて他動詞の用法をもつ動詞で、あとに続く要素から、空欄に入る他動詞の語法は**SVO**であると推測できます。問16と同様に、文法的にはどの選択肢も入れることが可能ですから、本問でも文脈から最適なものを選びます。

▸ 動詞の目的語がa very good **reputation**(とても良い評判)ですから、gain a reputationで「**名声を得る**」というコロケーションになる(C)gainedを選べば最適な英文になります。

□**earn**[**gain**, **acquire**, **establish**] **a reputation**「**名声を得る**」
cf. **have a good reputation as ~**「**~として評判が良い**」

19. **「週末になると、市立博物館は子供の入場料を値下げしています」**

選択肢には**お金に関する名詞**(類義語)が並んでいます。「Museum(博物館)」の「entrance(入場)」に関するお金なので(A)fee「(専門職の人への)**謝礼**/**報酬**/(**受験・入会・入場**)**料金**」が正解になります。

『料金・お金』を表す名詞		
□**charge**「(サービスに対する)**料金**/(電気・ガスなどの)**公共料金**」		
□**fare**「(乗り物の)**運賃**」	□**toll**「(有料道路などの)**通行料**」	
□**fee**「(専門職の人への)**謝礼**/**報酬**/(受験・入会・入場)**料金**」		
□**tuition**「(大学・私立学校などの)**授業料**(tuition fee)」		
□**cost**「(何かにかかる)**費用**/**経費**」	□**price**「(商品の)**値段**」	
□**fine**[**penalty**]「**罰金**」	□**rent**「**家賃**/**賃貸料**」	
□**admission**「**入場料**(admission fee[charge])」		□**pay**「**給料**/**報酬**」
□**commission**「**手数料**/**歩合**」	□**tax**「**税金**」	□**profit**「**利益**」
□**cash**「**現金**」	□**check**「**小切手**」	□**bill**「**請求書**/**勘定**」

20. **「私たちは東京ディズニーリゾートで3泊する予約をしました」**

▸ (C)a package以外の選択肢は「**make**+名詞」で**動作**を表すタイプの名詞です。

(A)→**make an appointment**「(医院・美容院などを)**予約する**」
(B)→**make arrangements**「**手配する**(=**arrange**)」
(D)→**make a reservation**「(列車・ホテル・劇場などを)**予約する**(=**reserve**, **book**)」

▸「**手配する**」という意味の場合は通例、arrangement**s**と**複数**にするので候補から除外されます。残る3つに文法的な誤りはないので文意に最もふさわしいものを選びます。appointmentとreservationはともに『**予約**』という意味を持ちますが、「東京ディズニーリゾートに3泊」という文意から宿泊予約と推測できるので(D)a reservationが正解になります。